

いきいきとした 町づくりを めざして



おにはそと！ふくはうち！

21世紀をになう子供たち

(横瀬保育所 2月3日)

- 12月議会で決まったこと……………P 2・3
- 臨時議会……………P 3
- 緊急質問……………P 4
- 産業建設常任委員会先進地視察研修……………P 5
- 一般質問に12人登壇……………P 6～17
- 私のひとこと 議会のうごき……………P 18



平成9年 12月定例議会

船井電機問題で緊急質問!!

土木災害復旧工事費に1億8,850万円

十二月議会で決まったこと

- 十二月定例議会は十二月十日から二十二日までの十三日間の会期で開かれました。
- 一般会計補正予算、緊急・一般質問など十二名の議員が登壇し、終始激しい論戦がくり広げられました。
- 平成八年度一般会計、特別会計の決算については指摘事項を付し認定致しました。

議案第1号

平成九年度勝浦町住宅新築資金等貸付特別会計補正予算
(二百三十三万七千円を追加。総額を二千三百四万九千円に)

議案第2号

平成九年度勝浦町病院事業特別会計補正予算
(七百万円を追加。総額を八億八千九百万円に)

議案第3号

職員の給与に関する条例の一部を改正する条例について

議案第4号

平成九年度勝浦町一般会計補正予算(第4号)
(二億七千八百八十三万五千円を追加。総額を五十億一千三百三十九万八千円に)

災害復旧工事費(議案第4号)

土木	一億八千八百五十万円(道路二十三件・河川十九件)
耕地	二千六百六十三万円(十二件)
林道	一億一千二百八十四万円(四件)



町道与川内中央線の災害状況

人事院勧告に伴う

給与改定（議案第3号）

職員給与を1.02%引き上げ

給与条例の一部改正を可決

職員給与に関する条例の一部改正を全員一致で可決しました。職員の給与（給料各種手当など）が平成九年四月一日にさかのぼって平均1.02%（金額にして一人当たり平均三、六三二円）引き上げられます。すでに国家公務員の給与は、人事院勧告により平均1.02%引き上げることが決まっております、本町も国の引き上げに準じて改定されます。

人事院の給与勧告とは

人事院は国家公務員の給与について民間に準ずること、すなわち国家公務員の給与を民間の給与水準と均衡させることを基本として勧告を行っており、地方公務員の給与についても、これに準じて行われます。

このことは、争議行為の禁止に変わる措置として政府も尊重することとなっています。

決算認定審査報告（平成八年度）

総務委員会に付託の平成八年度一般会計・特別会計の決算審査については慎重審議の結果、総務委員長報告のとおり次の指摘事項を付し認定しました。

建設課

① 横瀬橋関連の棚野側の事業取り組みが遅れている。早期に解決を図りたい。

産業課

① 畜産団地完成後も、団地をはじめ町内に悪臭による公害が未解決である。早期解決に向け最大限努力されたい。

環境衛生課

① 滞納住宅使用料（公益費を含む）の徴収に、なお一層の努力をされたい。

総務課

① 財政の健全化に向け、一層努力されたい。

同和対策課

① 住宅新築資金等貸付元利未収金の早期徴収に一層の努力をされたい。

② 同和対策課の旅費のあり方、団体助成金のあり方を含めて、行政が主体性を持って一般行政への移行に向けて取り組みをされたい。

税務保険課

① 徴収について努力されているが、滞納金の徴収に、なお、一層の努力をされたい。

全般的事項

① 各種団体補助金の見直しを、検討されたい。

第4回 臨時議会

一億四千三百万円で改築 中角公営住宅

第四回臨時議会は十一月五日開かれ、約一億四千三百万円で中角公営住宅改築につき審議。特に議員側から、当初計画の説明から予算等について修正変更があるなど不備な点につき理事者側の対応をするべく追求する場面もあり、今後、このようなことのないとの答弁を受け、承認された。



建築中の中角公営住宅

議案第1号

平成九年度勝浦町一般会計補正予算（第3号）（二千八百八十八万円を追加。総額を四十七億三千二百五十六万三千円に）

議案第2号

平成九年度中角公営住宅建設工事第一工区請負契約の締結について
契約金額五千七百八十万六千七百円（四戸）

議案第3号

平成九年度中角公営住宅建設工事第二工区請負契約の締結について
契約金額六千六百五十四万五千八百五十円（四戸）

議案第4号

勝浦町教育委員会委員の任命について
教育委員に松浦一博氏の選任に同意した



どうなる船井電機勝浦工場

緊急質問

船井電機勝浦工場「閉鎖」との情報に対する 事実関係について緊急質問を行う

西浜勝己 議員

問 昭和四十三年、勝浦町
誘致企業第一号、船井
電機株式会社が営業不振を理
由に、勝浦工場を閉鎖し、那
賀川工場に集約されるとの情
報だが、この突然の発表に、
社員はもろろんのこと、町民
からも、不安と動揺の声が上
がり、企業存続に向けての町
の対応を求める声は日毎に増
してきているが、この事態に
町当局は、事実関係その他ど
の程度の情報を入手している
のか伺いたい。

答 川口町長 本会議終了
後、全員協議会を開催
し、報告かたがた協議を致し
たいので了承願いたい。

十二月十日
議会全員協議会(要旨)
川口町長及び産業課長

十二月二日船井本社より、
総務部長が来町され、船井電

機勝浦工場の経営赤字を理由
に工場を閉鎖し那賀川工場に
集約する旨の話が突然持ち出
された。町としては誘致企業
第一号であり、しかも町内最
大の女性を主体とした企業で
ある。社員はもろろん町民に
与える不安と、商店街等に及
ぼす影響は、はかりしれない
と判断し、十二月八日急ぎよ、
川口町長、岡本産業課長が大
阪本社を訪問し、社長と面談、
会社側の方針等を伺った。町
としてはいかなる理由にせよ、
工場閉鎖に同意できない旨申
しのべたうえ、今後議会とも
相談し企業存続についての会
社側の再考を促し帰町したと
の報告を受けた。

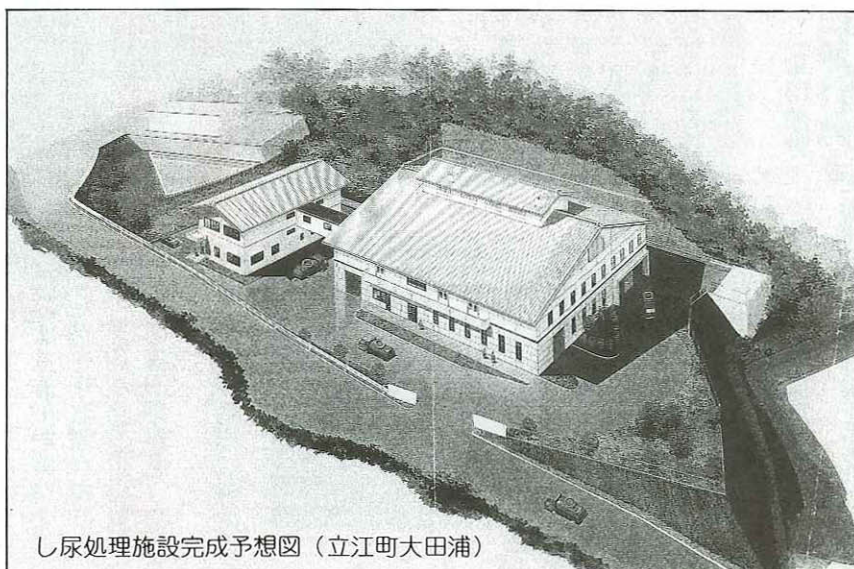
全員協議会で種々論議を重
ねた結果、今後の対応として、
議会代表三名を選出し、町長
ほか理事者(担当課長)と共
に企業存続に向けて、粘り強
く会社側と話し合いを行うこと
を決定した。

し尿処理施設関係資料の 提出を

中西晴美 議員

問 十二月一日一市三カ町
村衛生組合議会が開か
れ、三十五億円余りのし尿処
理施設の議
決するに当
たり、資料
が整ってい
なかった。
議決する条
件として関
係資料を二
三日中に
各市町村議
会に送ると
いうことで
あったが、
十二月十日
現在まだ届
いていない。
町長は副管
理者として
どう考える
か。

答 川口町長 至急資料を
提出していただくよう
要請をしたい。



し尿処理施設完成予想図(立江町大田浦)

産業建設常任委員会先進地視察研修

平成九年八月十九〜二十日

新潟県豪雨災害、災害復旧事業を研修

勝浦町の山間部は危険箇所も多く、豪雨による災害が発生しやすい地形、地質であるため平成七年新潟県で発生した豪雨災害とその復旧について、新潟県土木部河川課を訪問、スライド等による研修を受けた。

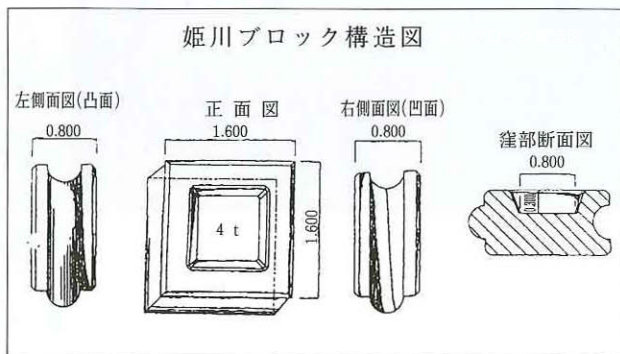
この災害は七月十一〜十二日梅雨前線の活動による豪雨で特に関川、姫川水系の増水による被害は、大きくその流

域は原形をとどめない状態であった。堤防が数カ所欠壊、橋も数多く流失し鉄道や学校のプールまで被害を受けた。上流の山崩れによる土砂、立木等が大量に流出し被害を大きくした。

この復旧に当たっては、建設省、土木研究所、新潟県、長野県、学識経験者により構成した「関川、姫川水系水害土砂災害対策検討委員会」を設置し、その提言を反映した。関川の災害復旧事業は36.3kmの事業区間で、流路は正、河幅の拡大、河岸の強化を五カ年計画で行っている。事業費は一十億円を超える。

また、姫川災害復旧で特筆すべきは、事業区間が落石や雪崩の危険のあるV字谷地形で、従来工法では問題があった。

この問題を解決したのが、担当職員のアイデアから開発された「姫川ブロック」と



いわれる特殊ブロックであった。このブロックは本町においても、危険箇所を使用出来るのではなからうか。勝浦町でも昭和二十五年甚大な被害を受けたジェーン台風の状況を知らない町民も多くなりつつあるが、天災はいつ起きるか予測出来ない。自然災害の恐ろしさを語り継ぐと共に万一の場合どの様に対応するのか、まだ本町に残された課題は多いと感じた。

群馬県の川づくり事業を研修、現地視察

「勝浦川を町の宝に」と川づくり事業に取り組みつつある勝浦町であるが、水辺空間を利用する事業はまだまだ進めていかなければならない。

川づくりでは先進県である群馬県河川課を訪問し研修すると共に、烏川の川づくり事業を現地視察した。

群馬県では「群馬21世紀川づくりプラン」に基づいて実施するもので21世紀初頭（五十年後）に向けて具体的な川づくり、溪流づくりの環境整備計画が作られている。

川づくりの基本方針として、

- (1) 自然景観そのものとしての川づくり
 - (2) 教育としての川づくり
 - (3) 人にやさしい川づくり
 - (4) 地域づくりと一体となった川づくり
 - (5) 災害に強い川づくり
- の五項目を定め県民に親しまれるよう努めている。

烏川は緑豊かな美しい中山間地域の風景を構成する重要な河川でカジカやヤマメ等が生息する清流である。一級河川であるが勝浦川よりやや小さい。視察箇所は平成六年の豪雨により河岸が被災しその復旧工事として施工したもので災害査定工法であるコンク

リートブロック積護岸と根固めブロック護岸について県費を投入、護岸の強度を保ちながら自然景観との調和や親水性、魚類等の生息に配慮し現地の自然石を使用した玉石護岸、階段工や根固めブロック護岸の前面に巨岩を寄石したり河道内に巨岩を配置し流れに変化をつけている。

又、平成八年度より特定河川環境整備事業を導入、地域住民が憩い、集える空間として、せせらぎ水路、桜づつみ、ホタル水路、木製チップ舗装による遊歩道の築造などを整備している。今後、勝浦町における川づくり、水辺空間の利用については、しっかりと基本方針を策定し国、県の補助事業を活用しつつ進めていかなければならないと思う。又事業完了後の管理については地域住民のボランティア活動に期待すべきであろう。



群馬県烏川のせせらぎ水路

船井電機(株)勝浦工場 閉鎖問題と対応策を問う

宮本久治 議員



願いに行きたい。

町内誘致企業の 連携について

誘致企業と産業建設常
任委員会との懇談会、
会社訪問の実施計画はどうか

問 誘致企業第一号である
船井電機(株)勝浦工場閉
鎖について十二月二日日本社部
長来庁後、町長、産業課長が
大阪本社へ存続のお願いに行っ
たと聞くがその状況と今後存
続に向けての町の対応はどう
するのか。

答 岡本産業課長 誘致企
業との懇談会開催につ
いては各企業と連絡をとり計
画中なので一月中旬に実施した
い。会社訪問については、日
程調整し実施したい。

年金・保険制度の 現状は

問 町内の誘致企業は年金、
各保険に加入している
のか。又退職金制度や定年制
は敷かれているのか。

答 岡本産業課長 年金、
保険については全社加
入している。退職金制度につ
いては全くない会社が一社、
勤続三年経過後支給の対象に
する会社、退職金と銘打って
いないが勤続年数に応じ功労
金として支給している会社等
がある。
定年制は、各社さまざま
ある。

誘致企業による 公害は

問 誘致企業に対し住民か
ら公害（騒音、悪臭、
大気汚染等）の苦情は現在出
ていないか。

答 国清環境衛生課長 過
去一二年間に焼却炉
からの煙の件で数件あり対応
した。

問 焼却炉は公害基準に適
合したものを設置して
いるか。

答 国清環境衛生課長 炉
は基準に適合したもの
であるが、運用に問題があり、
保健所職員、監視員等が立入
り、指導している。

し尿処理施設 改築さまる

小松島市外三町村衛生組合定例議会
平成九年十二月一日、佐
那河内村役場において第
二回定例議会が開かれ、
老朽化している現在の施
設を改築することになり、
三年継続事業で新築する
ことが議決されました。

所在地 小松島市立江町字
大田浦六六番地の
一及びその周辺

総工事費 三十五億七百万円

Q 一市三町村衛生組合
とは？

A し尿処理の海上投棄
が禁止になったため、
一市三町村（小松島
市、勝浦町、上勝町、
佐那河内村）で広域
行政を設立した（二
十年前）、各市町村で
負担金を出し合い、
運営をしている。
建設資金は、基金
積立をして新築に備
えています。

答 川口町長 十二月八日
存続のお願いに産業課
長と大阪本社へ出向き過去の
事情等説明しお願いをしたが、
社長、総務部長は、国際的金
融情勢、企業間競争が厳しく
会社の方針でやむを得ない旨
の話であったが、なお十二月
議会閉会後、会社と日程調整
をし、議会とともに存続のお



誘致企業 船井電機勝浦工場

川口町政行く年の実績と反省 来る年の基本的な施政方針を問う

滝口良一 議員



畜産団地と公害問題

問 畜産団地の総事業費は積み重ねて現在はいくらか。その経済効果はどのようになっているか。

答 川口町長 事業費総額はおよそ十億円ぐらいである。この事業は、国際化のなかで時代を先取りした重要な役割を持った事業であると信じている。

経済効果については金額では表せないが国際化の波に負けない畜産農家の育成や環境整備など効果はある。

問 悪臭公害の対策はどう取り組んでいくのか。公的資金の導入はどう考えているのか。

答 川口町長 公的資金の導入はしない。公害対策はメーカーにし尿処理浄化層を増設してもらい悪臭が出ないようにする。

問 けじめを早くつけて町長任期のうちに落成式は出来るのか。

答 川口町長 期間がないのでそれは出来ない。

心の時代 ボランティアの 推進問題

問 各種ボランティアの推進についてはどう取り組むか。

答 川口町長 時代の要請が必要であるので強力に進めたい。



人形浄瑠璃

坂小問題と勝浦座

問 坂本小学校の統合と施設の跡地利用についてどう考えるか。

答 川口町長 地域の方々と十分協議をする中において方策を決めて行きたい。

問 勝浦座の保存と農村舞台の設置についてはどう取り組むか。

答 川口町長 勝浦座の人形浄瑠璃は国際舞台でも活躍している。何とか前向きに考えてみたい。

地方分権と過疎対策

問 法制定により地方自治法の改正もあると聞くが、地方自治体の意見をどう反映するのか。ストロー現象の観点について過疎地に活力をつける知恵と力をどう反映されるか。

答 川口町長 十分に地域の意見を集約される機会を持ちたい。県段階でもよく協議してゆきたい。

観光開発は

問 宿泊施設と森林公園構想については温泉ボリリングをして、口立川あたりに広域観光ルートに値する森林浴と特産品コーナー、自然食を味わえる施設を計画してはどうか。

答 川口町長 十分に地域の意見を集約される機会を持ちたい。県段階でもよく協議してゆきたい。



口立川の観光開発

答 川口町長 よい発想ではあるが民間資本に待たなければならない。

問 先進地では観光商工課の表示がある。(九州地方)徳島県下ではすべて商工観光課である。観光を主とする観点に立ってどう思うか。

答 川口町長 よく検討したい。

みかん産業の振興対策について

中西晴美 議員



問 昨年対比二七％増、大
安値で生産農家は憂慮
すべき危機に直面している。
基幹産業であるみかんに積極

的な振興対策を実施しなかつ
たと思うがどうするのか。

答 川口町長 一般並みの
予算は組んでいる。予
算の許す範囲で考える。何も
かも町政に依存する生産者は
駄目だ。自主独立する農家は
支援したい。

問 一般並みでは駄目だ。
徳島県の四割を占める
基幹産業を最重要視すべきだ。

答 川口町長 認識してい
るが、財政の許す範囲
内で対応する。

畜産団地の施設不良の 責任について

問 再三の豚舎の現地視察
の議会側の申し入れを
その都度断わり、四回目によつ

と実施した。「日本一の新鋭施
設だ。町長は町民に喜こんで
もらえと言ったが猛烈な悪
臭で、欠陥箇所は、し尿処理、
堆肥攪拌、コンベアーの三施
設だ。町内の環境をよくした
というがこの責任はどうする
のか。

答 川口町長 現地へ行つ
てみて思っていたより
悪臭がひどかった。原因が判
明したので業者に改善させる。

問 当初六戸以上が補助金
対象であったのに、最
近三戸以上で対象になると発
表した。結果的に四戸のため
に十億円余りの大金を使った
ことになる。半分の投資で
よかったのではないかと思っ
て、その責任と所見を伺う。

答 川口町長 過疎債の有
利さを最大限活用した。
他の事業に影響はない。

勝浦町の財政状況と 今後の財政再建について

問 平成八年度で公債費比
率は一八・一％経常収
支比率八〇・八％起債（借金）
約六十一億円。平成九年度見
込みでは一％上昇し六十五億
円余りになるというが、これ
は一般企業であれば既に倒産
状態だ。今後の財政再建をど
うするのか。

答 川口町長 苦しい財政
状況であるが無駄を省
き、節約して財政再建に取り
組みたい。

答 松浦総務課長 毎年平
均六億円程度の元利償
還をしてゆく。このため減債
基金を積み立ててやりたい。

地方分権が市町村行政 に及ぼす影響について

問 地方分権と言うが権限
を国・県から市町村に
移すかわりに企画立案や、そ
れに伴う必要な費用等は自主
財源でまかなないさい、では
町村の責任のみが強いられる
懸念がある。町はどのように
対応するのか。

答 川口町長 難しい問題
だがまだ具体化してい
ないので今、直ちにどうする
とはいえない。が、今から対
応策を考えたい。

介護保険法への 対応は

問 介護保険法が国会で法
制化され二〇〇〇年か
らスタートすることになった。
国民健康保険税の上に介護保
険料を町、個人共支払わなけ
ればならなくなるがその対応
策や影響はどうか。

答 川口町長 具体化して
いないが、大変問題が
多い。研究して対応したい。

町長の政治姿勢 について

問 財政再建をしながら重
要施策を具体的にどう
するのか。

答 川口町長 財政が厳し
い中で実情を十分把握
して企画にあたっては知恵を
ふりしぼり、町民と一緒になっ
て一生懸命に頑張りたい。



収穫期を迎えたみかん・価格低迷で農家も苦しい。

町道西岡・田中線の改良を図れ

福徳重二 議員



答 川口町長 十分理解しているが地元関係者の理解と協力があれば積極的に取り組むたい。

柳原に橋梁バイパスを作ってはどうか

むずかしいと思う
(川口町長)

西岡・田中線道路の改良を図れ

地元の熱意で解消も
(川口町長)

問 柳原地域の交通安全を考えると山田谷川吐き出し口に橋を架け、バイパスを作ることによって交通渋滞の解消を図ってはどうか。

答 川口町長 以前にも県と交渉した経過はあるが聞き入れられなかった。

問 町道で大雨害時は別として普通災害時に道路が水没して救急自動車の出入りができないのは町道西岡・田中線ぐらいと思うが、認識はどうか。

答 川口町長 認識している。

問 福利は町民等しく享受するとある。町長は住民の不安を解消するため先頭にたって水没地域道路の改善を図りたい。

県は道路の抜本的な見直しのため調査をしている。その検討結果を待って対処したい。

問 今山橋下流域の道路の嵩上げ、河川改修が遅々として進んでいない。これ等要望事項と今山橋・今山ぜきの改築とは同時進行が望ましいと、町長・助役の過去の答弁がある。すでに今山橋は関連道より着手しているが同時進行の答弁とは矛盾していると思うがどうか。

答 川口町長 計画したものの全てが同時進行は望ましい。検討段階では同時進行するべく努力しているが、早く着手できるものもあり、遅くなるものもある。ご理解願いたい。



狭い柳原地区県道



今山、沼江ぜき改築予定地

町の将来像を問う

農業・福祉が基本
(川口町長)

問 町長は福祉優先の町、勝浦町とよく言われるが今後も福祉優先政策を続けるのか、変わるのであれば順位をつけてはどうか。

答 川口町長 一番は農業中心で所得が得られる政策をとりたい。二番目に福祉を充実させたい。福祉政策も雇用面からみて産業である。

問 サラリーマン所得者の源泉徴収制度下での税の負担方法と申告制で負担している者とは不公平があると思うがどうか。

答 川口町長 国の法のもので負担しているのので不公平とは思わない。

問 不公平でないにしてもサラリーマンが不公平感をもっている気持ちは理解できるか。

答 川口町長 不公平とは思わないが気持ちは理解できる。

コンピュータソフトの二〇〇〇年問題を問う

順調に進んでいる
(松浦総務課長)

問 郵便番号の七桁変更と、一九九九年十二月末日までにコンピュータ、ソフトの書き替え作業でスタッフに業務負担増が想定される。最終期日までに終了すると思うか。

答 松浦総務課長 現在のスタッフで一九九九年十二月末日までに修正することができると予定である。

働く場の確保と

町内企業の育成は!!

節 源 一 議員



に取り組んできたが、なお一層実情を把握し、きめ細かな行政を続けていきたい。

答 岡本産業課長 地場の産業に農業をもっともつと育成し人のとどまれる町にする施策が商工業の発展につながって行くので努力する。

問

金融不況、景気低迷、経済の不安定による企業の減産、合理化等働く人達にとって厳しい新年を迎えねばならない状況であるが、勝浦町における雇用の場の確保と誘致企業及び地場商工業の育成についてどう考えているか。

答

川口町長 誘致企業については、人口減等による労働力の問題もあり今後企業誘致はしないという方針であったが方向転換する時期が来つつあるのかとも感じている。今後町内の実情を調べ検討したい。地場商工業については、財政の許す限り育成

青少年健全育成

について!!

問

平成九年八月の新聞報道によると「県内における少年非行が過去最多になっている」とあったが、町内の各学校においてはどの様な状況になっているのか。又今回一般家庭に協力して頂き設置された子供一〇番が利用されたことはあるのか。

答

倉橋教育委員会事務局 長 県下全般では非行率が昨年比三〇%近い増加と言われるが、町内においては問題を聞いていない。又町内四十三箇所設けられている子供一〇番には開設から半年たっ

た現在、利用者はないと聞いている。



青少年健全育成についての研修

交通安全の対応は!!

問

勝浦町内の小学生は集団で登下校をし中学生は自転車登校の生徒も数多くいるが、学校の指導、父兄や一般の人たちの協力によって交通事故は発生していない。しかし、事故はいつ発生するかわからない。一般社会の交通事故は多発傾向にあり、重大事故も昨年より増加している。勝浦町における交通安全の取り組みはどのようになっているのか。

答

松浦総務課長 交通事故の防止については、安全意識の向上をしていかな

ければならないので町広報等で意識向上につながる啓発を行っていきたい。又町費支出によるガードレール、カーブミラー等の安全施設を道路状況により安全協会、警察など関連した機関と連携を持ち対応したい。又、将来は意識交通安全教育ができる交通安全指導員の設置も必要ではないかと考えている。

県道の災害復旧

を急げ!!

問

県道徳島一上那賀線三溪バイパス横瀬側の台風十九号による山崩れ現場は、いまだ工事にかからず一方通行が続いている。通行する車両も多く大変不便を感じているが、復旧はいつになるのか。

答

秋本企画開発課長 山側の崩壊状況が特殊であり工法検討のためボーリング、土質の解析に不測の日時を要したが、十二月十日査定も受け採択された。しかし実施設計書の承認や用地買収がない。又着工してからの特異な工法になるのでかなりの時間を要すると思われるができるだけ早く着工したい。

沼江バイパス

二期工事は!!

問

県道阿南一勝浦線沼江バイパス二期工事着工に向けての状況はどうなっているか。

答

秋本企画開発課長 七月三十日に地元説明会を行い山側のコースで予備的な調査を十一月末、県が総合コンサルタントに発注した。その位置が地すべり指定区域なので四つある山にボーリングを打ち、トンネル工法がオーブンカットかを三月末をめどに決定することになる。用地関係者にこのボーリングをさせてもらうため地元説明会などでお願しなければならぬ。まだ設計にも入っていない状況である。



県道三溪バイパスの山崩れ現場

保健・医療・福祉 連携のための基盤整備を急げ!!

森 敏治 議員



障害者支援の 具体策を問う

問 障害者の自立を支え、共に生きる環境づくりが遅れていないか。ボランティア活動には限界があり、手厚い行政が必要と思うがどうか。

答 駒津住民福祉課長 作業部会で検討中であり、平成十年度から五カ年計画で対応したい。

児童館の設置を!!

問 子育て支援の一つとして保護者が安心して働

きに出やすい環境づくりや子ども達の健全育成のためにも児童館の設置が必要でないか。

答 駒津住民福祉課長 児童館は三分の二の補助があり、県下で四十九館設置され、県に対して要望も多く、町にも住民から要望が出ている。

保健センターの 建設を急げ!

十一年度建設を目標
(国清環境衛生課長)

問 保健所も阿南に統合が予測される等きびしい環境の中で今後どう対応するか。保健センターの設置を急ぐべきである。

答 国清環境衛生課長 法の施行により住民の身近なところできめのこまかいサービスが求められており、保健婦の増員や愛育班に期待している。センターの設置は十一年度を目標に計画している。

答 川口町長 障害者対策の遅れ、児童館の設置等々いづれも重要課題であると認識している。

問 各課連携のための機構改革を問う。

答 川口町長 きめこまかい横のつながりをもつ行政機構の方向とし、早く取り組みたい。

坂本小学校統合に向けた 町の取り組み姿勢を問う

問 新しく就任された教育長の抱負と坂小統合についての所見は。

答 松浦教育長 学校教育、社会教育等々を通じて勝浦町のエデュケーションを力したい。さらに結論が出ている坂小統合に向け取り組むたい。

幼稚園設置の決意は!

問 教育委員会の結論をどう受け止めているか。

答 川口町長 色々問題は残されているが委員会の意を十分受け止め進めたいが、いろいろ問題は残されている。

県道の改良を!!

問 東西いずれかの坂小への進入道の整備には、坂小周辺の県道整備が必要である。十一年三月まで子ども達が勉強しており建物の改築は出来ない。したがって姿勢として県に改良を要望し周辺整備費等を当初予算に計上されたい。

答 川口町長 県と協議するが、当初予算計上はむずかしい。

広域農道の舗装を急げ

問 広域農道の進捗よく状況と見通し、完成した四工区の舗装をどう考えているか。

答 秋本企画開発課長 町全体で約六十パーセント、完成まで後十五年はかかる見通しである。

答 川口町長 舗装については期成同盟会や議会とも協議し、納得の行く方向で検討したい。

二期目をめざす 町長の政治姿勢を問う



雑草がはえ道はあれている。

総合支援センター(仮称) の建設を約束出来ないか

問 二期目をめざす町長は、具体的にどう取り組むか。障害者や子育て支援、福祉保健等補助事業を組み合わせたセンターを設置し、町の姿をつくり上げるべきではないか。

答 川口町長 総合的に検討し煮詰めていきたい。

町づくりの基本姿勢!

問 三市に隣接した「地の利」を生かした町づくりが基本である。どう取り組むのか。

答 川口町長 農業を中心に所得のあがる産業による町おこし、福祉の継続や観光・住宅政策等を推進し誠心誠意頑張りたい。

基幹産業「みかん」価格大暴落 将来の展望につながる振興策を問う

森 健 議員



問 かつては、植えよ殖やせよ、とはやしたてられ、また切れよ減らせよ、と進められここ近年少しは、あ

かるさも見えた町の基幹産業みかんであるが今年の価格の暴落は、相当なものだ。

消費傾向の変化、輸入攻勢耕作者の高齢化、等々を考えると、適地、適人、適作を基本としての生産や管理販売手段の合理化等今までの考え方、延長戦で将来の展望につながる得ようか。基幹産業であるだけに、発想の転換が求められるのではないのか。

答 川口町長 みかんがもうだめだとは思っていない。

ない。消費税や医療費の値上がり、国全体の不況感が購買減となっていると思っている。農家農産物の泣き所として自分で値がつけられない現在の流通体系の中では、直売方式等を加えつつ国・県や大都市圏定住者から情報を得るようにしたい。本来に価値のあるみかんづくりを進めたい。

答 岡本産業課長 非常に厳しい状況と受け止めているが、悲観してはならないと思っている。消費者や市場の動向を捕らえ、その状況に対応できるよう取り組み「売り」上手になるよう指導を受けながら取り組む。また、ダンボールの統一による勝浦みかんのシェア拡大を図りたいがまだ実現できていない。早い機会に品質保証のダンボールや、非破壊分析装置付選果機等も実現に努力したい。

問 長期的な展望の一つとして「勝浦発」の新しい品種を作る試みがあってもいいのではないか、農業改良普及センターの資料を参考に

して行政はこうしたこと「お膳立て」をすべきと思うが。

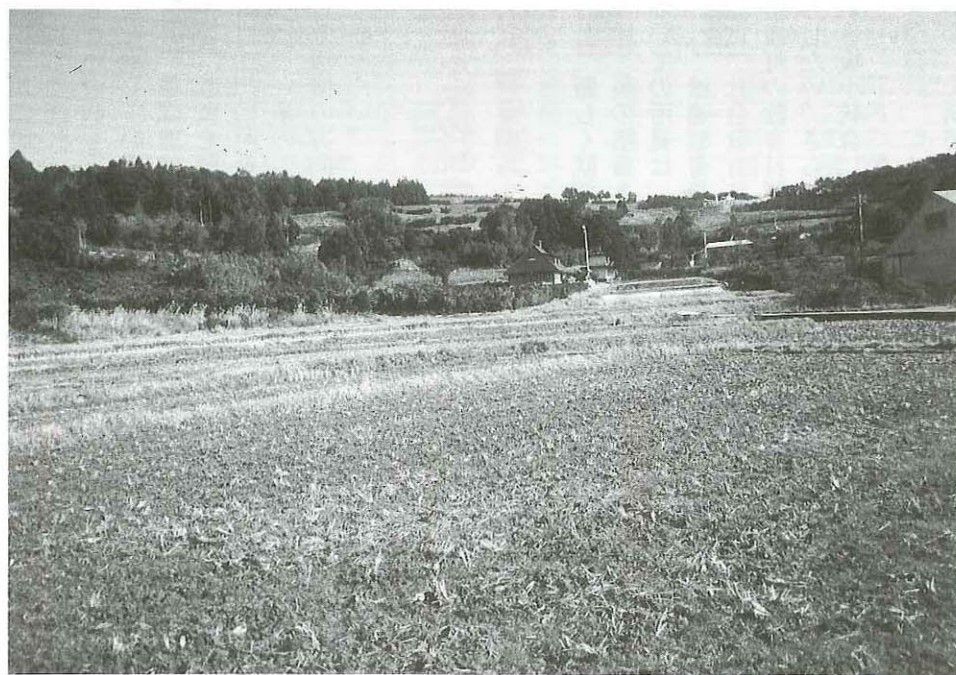
答 川口町長 基幹産業でもあるし、県果樹試験場もあるので遺伝子組み替え等も利用した町の果物づくりにも努力したい。

答 岡本産業課長 資料は見た記憶があるので、

農家の方と相談して努力してみたい。

小松島「いやしの郷」構想と旧勝浦園芸高校ほ場の活用について

問 構想については、新聞報道があったのでご存



旧勝浦園芸高校ほ場

じのことと思うが、要約すると、場所は、ほ場と背中合わせの所に計画され、二十一世紀は共生と心身のいやしの時代で、観光産業がその柱になると位置付け、二十八ヘクタールの丘陵地に自然環境保全型の観光拠点を作り、初年度で五十万人の利用、三十億円の観光マーケットが誕生すると推測している。隣接地のほ場を連動して活用する考えはあるか。

答 川口町長 事務所を訪れ町有地があるので、構想と連動させて活用できないか、と話をした経過はある。現在の計画では、無理であるが、将来構想としては考えてみたい、とのことであったので、議会の理解と応援が得られるなら努力してみたい。

答 秋本企画開発課長 宅地が適当と思うが「構想」と合わせて努力する。



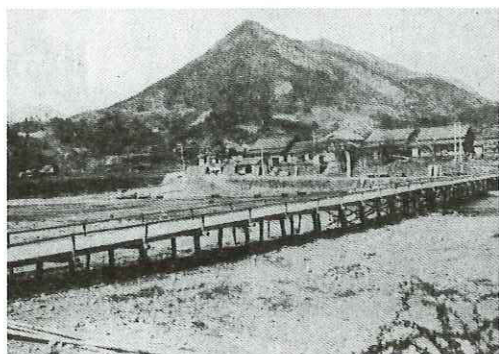
昔は人の流れで、今車の流れが

神原 忍 議員



高瀬舟の 記念碑と観光施設

問 家もほとんどない一面の竹やぶや田畑だった



大正の頃の横瀬橋と浜につなかれた高瀬舟

所に、横瀬の街ができたのは、明治の初め頃から高瀬舟輸送が盛んになったからだという。最盛期には百五十そうくらいいた高瀬舟は、川づたいに徳島や鳴門まで行き、帰りにはあげ荷をしてくる。

那賀郡の物資も津田沖を回るよりは、川づたいの近道で徳島に行ける勝浦川の利用が多かったようで、終着港横瀬にはいつも五十そうほどの高瀬舟がつながれていて、「浜」と呼ばれていた。

ちょうどその浜の真中に新しい横瀬橋の橋台ができる。この附近に高瀬舟のことや、横瀬のまちのことを石に刻んで一枚の碑とし、残しておいてはどうか。

答 川口町長 横瀬の街を生み、輸送産業としても一時代をになった高瀬舟の記念碑、適当な場所ができればつくりたい。

答 松浦教育長 町の歴史を残してゆく事は重要だ。碑を建てる場所があれば設置したいと思う。

横瀬橋に続いて新しい前川橋ができると「浜」のあたりは五路線が交差する所となる。交通の錯綜するところなので、見通しを妨げないためには全部の橋が出来上がってから場所の検討をするべきだ。そして県道敷地の場合は県の許可が要り、民地の場合は土地所有者の承諾が要るので、今後の検討課題としたい。

問 昔、人の流れが集まってきた街ができたというが、明石大橋の開通などもある。横瀬橋を通行する車の流れも多くなるのでなからうか。

ちょっと車を止めてみたく



平成9年の横瀬橋

なるような観光的な施設をつくる計画はないか。

答 川口町長 観光的な施設の建設は予算的な面もあり、今すぐの計画はない。しかし、美しい景観の川や橋をいかして、将来は宿泊施設などできればいいと思う。

波羅尾スカイ・ ウォーカーランドの 周辺整備と宣伝



阿波踊りスカイオープンの頃(H9.8月12日~16日)

問 明石大橋の開通をひかえインターネット等での宣伝はしているか。道路や周辺の整備は進んでいるか。



私のパラグライダーも準備万全だな！?

答 桂木建設課長 側溝、ガードレール等も含め、道路は巡回しながら順次改良している。一カ所ある波羅尾町道の地すべりの場所は現在動いていない。

その工事については慎重に対処したいので、今しばらくお待ち願いたい。

答 岡本産業課長 インターネットへの入力の一部しているが詳しくはしていない。本年度末には完成するので、それから本格的な宣伝もしてゆきたい。

周辺の整備は地元からの要望を中心に実施している。本工事の出来上がりについてもご期待頂きたい。

勝浦農業の活性化について

国清 栄議員

組んで研究していかなければと考えている。



活性化委員会の設置について

今後考えていきたい
(川口町長)

問

勝浦の農業を取り巻く環境は年ごとに厳しくなっている。今や生産者独自の努力だけでは乗り切れる状況ではない。行政として今後どのように考えているのか。

答

岡本産業課長 生産者、JA 行政との話し合いの中で色々要望等聞いたが生産に関しては熱心であるが販売については余り話題として出てこない。今後販売について指導できる人を招くなりその方向での体制を



見通しが悪く危険な堤防上道路

問

町内各生産者部会20余りがありそれぞれの部会での調査研究はされているが各部会だけでは限界がある勝浦農業を発展させていくには行政が中心となり委員会を結成しより強い産地化を図るべきではないか。

答

川口町長 生産者、JA、農業改良普及センター、行政が一体化して今後の勝浦の農業を考えていきたい。なお、この他にも市場の方も入っていただき進めなければならぬと考えている。

問

産業課の機構改革について今後どのように考えているのか。

答

川口町長 現在の体制のままで行くか、産業振興課という形にするか、現段階では煮詰まっていない。今後全体的な動きの中で前向きに検討していきたい。

星谷運動公園の道路整備について

県と十分話し合いたい
(松浦教育長)

問

星谷運動公園は平成五年に完成したが現在まで堤防ぎわの道路が未舗装と

答

松浦教育長 河川占用上許可ができないという事で残っているが、更に県に対し状況を十分説明し県の河川改良等で対応できないものか早急に煮詰めたい。

問

堤防上から星谷橋、あるいは運動公園に入る道路は大変見通しが悪くその上鋭角に曲がっている星谷方面からの道路と交差している関係で大変危険である。こ



星谷運動公園の道路状況

答

川口町長 堤防上からの状況をどうするのか。運動公園と星谷橋に通じる道路についてはダム警報装置の建物の位置も含めて二重・三重の悪条件の要因となっている。現在の状況を少しでも改善できるよう努力したい。

水源保護の条例の設置を

原田昭三議員

横瀬どまりの

バスの延長を



徳島バスへ要望したい
(松浦総務課長)

問

横瀬どまりの徳島バスを環境改善センターまで延長できないか。改善センターの行事に参加するお年寄りの要望が強い。

答

松浦総務課長 徳島バスの方へ要望していきたい。



徳島バスの乗り入れが待たれる農村環境改善センター

水道水源保護条例をつくるべきだ

研究してみたい

(国清環境衛生課長)

問

勝浦町内においては谷水を水源とした、簡易水道が多数あるが、水道水を保護するための条例が必要なのではないか。

答

国清環境衛生課長 県下では阿南市において条例が制定されているが、産業廃棄物を対象とした条例である。しかし、産業廃棄物を規制した国の法律があるので、このような新たな条例はつくらなくても対応できるのではないかと考える。

答

川口町長 県の指導を仰ぎながら検討していきたい。

問

この条例について今後十分研究して見る必要があるのではないか。

答

国清環境衛生課長 今後なおよく研究してみたい。



機構改革はこれからの課題（勝浦町庁舎）

庁内機構改革を早急に

問

平成七年に「機構改革検討委員会」より提言されているが、今までに実施されたものはあるか。

答

松浦総務課長 提言の中から実施されたのは、消防関係および交通安全の事務の総務課への変更である。

答

川口町長 他の事務については、今後検討していきたい。

問

地籍調査課設置や保健福祉体制の一体化を早急に実施すべきではないか。

答

川口町長 今後は地方分権と合わせて考えていきたい。

畜産公害、その後の進展は

今後よい方向を

見い出したい

(川口町長)

問

九月議会以後どのような進展をしているか。

答

川口町長 生名地区の公害については十二月二十日に会を予定している。よい方向を見い出していきたい。

答

早川助役 家畜の移転については困難な状況ではあるが、新たな方策も検討しながら、地域と十分協議しつつ善処したい。

問

生名地区の環境がよい場合九月議会において政治責任をとると言われていたが、いつどのようにとるつもりか。

答

川口町長 できないと思っていない。今後任期中がんばってみたい。

横瀬橋柵野側取り合い道路 交通安全対策上改善せよ!!

西浜勝己 議員



県に要望する

(松浦教育長)

問 横瀬橋架け替え工事は予定通り進んでいるが、柵野側取り合い道路は急こう配のうえ大変見通しも悪く交通安全対策上「キケン」である。現場説明のとき、県に対して強く改善方を要求してきたが、その後どんな回答を得ているのか。

答 松浦教育長 (参事在職時の内容について答弁いたします。) 県は急こう配は直すべく作業を進めている。

問 橋は現在より長く一七〇メートル、幅員は広くなり通行車のスピードは増

す。通行量は大変多い。町道柵野立川線からの見通しは特に悪く、信号機を含め四叉路周辺の交通安全対策に県が難色を示す場合、町が肩がわりをする必要がある。見解を求める。

答 松浦教育長 県に要望するが、交通安全対策、信号機等は関係する担当窓口が違う。交通安全対策協議会、警察等とも協議をしたい。



横瀬橋。柵野側取り合い道路
こんな急こう配?

南部農免道路第二工区 見通しは?

県要望額は二億円
(秋本企画開発課長)

問 公共事業抑制策がいわれている。南部農免道路の来年度予算要求額はいくらしているのか。また予算確定時期はいつごろと判断すべきか。

答 秋本企画開発課長 来年度予算要求として二億円を要望している。また予算内示は早ければ四月はじめるころと思われる。



工事中の南岸農免道路

介護保険法の成立と これからの取り組み!!

実施までに研究したい
(駒津住民福祉課長)

問 国会でいろいろ問題をかかえたまま、介護保険法が成立した。これからの取り組みに万全を期さなければならぬ。

その決意は。

答 駒津住民福祉課長 自治体職員が家庭訪問、七〇項目調査表を作成し公平をモットーに判定しなければならぬ。「保険あつて介護なし」にならないよう審査委員会等、今後研究を重ねたい。

地方分権と勝浦町 何を求めるのか

一部広域行政を
(早川助役)

問 徳島一日地方分権委員会の席上知事は、市町村合併の推進に支援策を表明しているが、町長はどのような見解なのか。

答 川口町長 知事は合併推進論者であるが、現



これからの地方はどうなる?

時点においては方向づけ等は時期尚早であると思う。

問 地方分権に伴う広域行政のあり方、一部事務組合等、勝浦町としてどのような事業を考えるのか。

答 早川助役 隣接市町村との消防行政、一般廃棄物処理問題や、介護認定審査会等が考えられる。

公共事業抑制の中で 重点事業は何か?

各課内で検討中
(松浦総務課長)

問 国七%、県一〇%の公共事業抑制策が打ち出されているが、来年度の勝浦町は何を重点施策として取り組むのか。

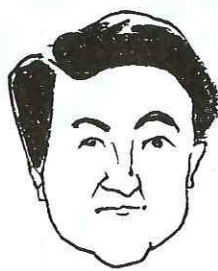
答 川口町長 重点施策は、継続事業と約束をしてきている事業であり、新規事業は選択したい。

問 来年度予算確定にむけての具体的作業日程を明示せよ。

答 松浦総務課長 現在各課内で慎重に検討中であり一月二十日締め切り。二月四日より査定作業に入る予定である。

みかん価格低迷の対策を 原因は国の失政に！

井出幸夫 議員



消費税などが 購買力に影響

みかん価格は、昨年の半分以上。今までは、味さえよければ売れると言われてきたが、「この低価格は信じられない（日園連）」という状況だ。その原因は、消費税、医療費などの負担増や、果汁の大量輸入だと指摘されている。自由化と経済対策の失敗という政治の責任でないか。

問

みかん価格は、昨年の半分以上。今までは、味さえよければ売れると言われてきたが、「この低価格は信じられない（日園連）」という状況だ。その原因は、消費税、医療費などの負担増や、果汁の大量輸入だと指摘されている。自由化と経済対策の失敗という政治の責任でないか。

答

川口町長 景気不十分なか中での負担増が消費の減少に影響した。これほど政治経済が大きくみかんに影響していることに驚く。新しい視野に立った振興策が望まれる。

川口町長 景気不十分なか中での負担増が消費の減少に影響した。これほど政治経済が大きくみかんに影響していることに驚く。新しい視野に立った振興策が望まれる。

問

加工原料果実の価格安定制度の大幅な改善と、「緊急輸入制限措置」(セーフガード)を国に対し要求せよ。

答

川口町長 要請運動する。



山積みされた原料みかん
農家手取りはコンテナ1杯数十円？

スプリンクラーへの補助を

問

県単事業は、条件的に圧倒的多数の農家を補助対象から排除しているのではないか。(補助対象の)農業法人数は、ハウスのスプリンクラーに対する補助の適用を。

答

川口町長 農業の法人は十七社。今後、農家は制度を活用しやすいように

取り組んでいきたい。
問 非破壊分析装置(光センサー)による選果システムのメリットは。

答

岡本産業課長 みかんの糖、酸の分析により、内容の統一した出荷ができ、価格上昇が見込める。

船井電機には社会的責任

一億円こえる打撃も
(岡本産業課長)

問

船井電機勝浦工場は、誘致企業としての社会的責任があり、一方的閉鎖は許されない。給与総額、および小売店など地域経済への打撃は。

答

岡本産業課長 町内の労働者は五十四人、給与総額で二億二七三〇万円である。給与の半分の消費があるとすれば、約一億一千万円が購買力に影響すると思われる。

障害者の社会参加を

スポーツ大会など考えたい
(駒津住民福祉課長)

問

町内の障害者は四五十人。高知県佐川町の車椅子ロードレース大会のように、障害者が社会参加して行

けるような取り組みをすべきだ。

答 駒津住民福祉課長 若い障害者のスポーツの場が少ない。町として取り組めるような運動大会などを考えていく。

問 車椅子体験などを通じ、障害者の立場から全てを見直す必要があるのではないか。

答

川口町長 必要と思う。

人権条例は廃止せよ！

意向を聞いてみたい
(川口町長)

問

同和団体助成金の決議(九月議会)について、町村会での審議状況は。

答

川口町長 十二月十一日の評議員会で正式の議題になり、次の会で考えを出し合う予定。

問

「人権条例」は、部落差別という言葉条例の中に残っており、理論的にも破たんしたものだ。同時に、「ガラス張り」「勇気」という町長の政治信条も根底からきり崩された。この「人権条例」は廃止すると公約できるか。

答

川口町長 議員や町民の意向も聞いてみたい。

廃止するかについては、発言を差し控えたい。

問 部落解放基本法制定など、どの集団には、今後いつさい職員は送らないと断言できるか。

答 川口町長 送らないとはいえない。

住民投票条例の制定を

問

重要な問題が起こった時直接町民の意志を確かめるための「住民投票条例」をつくる考えはないか。

答

川口町長 内容について勉強不足だ。よく調べてみたい。

町づくりの理念は？

問

二年前には「福祉が一番」と言ったが、町長の発言がコロコロ変わっている。

答

川口町長 順番つけるのが悪いというのなら、全部大切だと思う。

〈町内の障害者数〉

障害者	31人
障害者	71人
障害者	1人
障害者	254人
障害者	64人
障害者	30人
合計	451人

(平成9年3月31日現在)

議会だより「かつうら」発刊に寄せて

勝浦町社会福祉協議会会長 大井 儀



像することができました。

こうしたやりとりを通じて、議会と町がけん制と調和を図るなかに、町勢発展の原動力があると思います。ただ本格的な超少子高齢化時代を前に福祉関連の質問がなかったこととに一抹の寂しさを覚えます。

国の行財政構造改革の厳しい風の吹く中であって、勝浦町議会では、議員だけで編集発刊を決断された、町議会の皆さんと、編集委員さんに心から敬意を表します。

九月議会の広範囲にわたる、一般質問では随所に、町理事者との間に緊張する場面を想像

今町民が何を望み、何を願っているか、「もの言わぬ農民」との言葉もありますので、この広報活動によって町民の声なき声を町政に反映し、読みやすく、親しみのある「議会だより」に発展されますよう、心からお祈りいたします。

「議会だよりかつうら創刊号」を読んで

勝浦町青年会会長 太田 豊



また、紙面では迫力が少ないので、是非、議会傍聴に出かけて勉強させていただこうと思っています。

議会だよりの益々のご発展をお祈りいたします。

いままで、議会は、自分にとって遠い存在と思っていたましたが、議会だより創刊号に接し、少し身近に感じられうれしく思っています。今後とも、勝浦町を良くするために、高所からの識見あふれる内容を期待し、真しな政策論戦を心から楽しみにしています。



編集後記



いよいよ四月五日待望の鳴門明石架橋開通、本州と徳島が陸続きに、経済効果はもちろん利便性、そして何よりも交流の輪が大きく広がるのも魅力である。

年が明けても販売不振が続くみかんをはじめ勝浦の農産物も東洋一の長大橋を渡り京阪神に直接届けられる日も近い。大いに発展を望みたい。私たち編集委員一同新たな決意のもと、皆様に親しまれ、読んでいただければとの思いをこめ「議会だよりかつうら」第二号の編集にあたりました。ささやかではありますが、皆様と議会の架け橋となれるよう願っています。

議会のうごき

11 月

- 1 日 議会広報調査特別委員会
- 4 日 議会広報調査特別委員会
- 5 日 第4回臨時議会開会、議会運営委員会、全員協議会
- 6 日 議会広報調査特別委員会
- 10 日 第4回臨時議会閉会、全員協議会、議会広報調査特別委員会
- 15 日 議会公報配布日
- 19 日 地方自治法施行50周年記念シンポジウム
- 20～21 日 町村議会議長全国大会、勝名地区町村議会議長、県外視察研修
- 25 日 勝浦郡町村会議員研修会、議会運営委員会
- 28 日 産業建設常任委員会

12 月

- 1 日 総務常任委員会、小松島市外3町村衛生組合議会（佐那河内村）
- 2 日 徳島一日地方分権委員会
- 3 日 厚生常任委員会
- 6 日 関東阿波かつうら会拡大幹事会
- 8 日 議会広報調査特別委員会
- 10 日 12月定例議会開会、全員協議会
- 15 日 「船井電機」企業存続に向けての要請
- 16～19 日 12月定例議会再開、一般質問
- 21 日 第44回徳島駅伝勝浦郡選手団結団式
- 22 日 12月定例議会閉会、議案4件可決、畜産公害に関する陳情採択
- 25 日 勝浦川整備促進特別委員会
- 26 日 緊急全員協議会（救急患者輸送車事故の件 午後8時より）

1 月

- 2 日 成人式
- 4～6 日 徳島駅伝勝浦郡選手団応援
- 6 日 徳島駅伝勝浦郡選手団解団式
- 12 日 「船井電機」企業存続に向けて要請（署名簿提出）
- 14 日 議会広報調査特別委員会
- 15 日 消防出初め式
- 20 日 衛生組合し尿処理施設新築説明会
- 21～22 日 議会広報調査特別委員会
- 26 日 議会広報調査特別委員会
- 30 日 正副議長研修会、勝浦町誘致企業連絡協議会、議会広報調査特別委員会